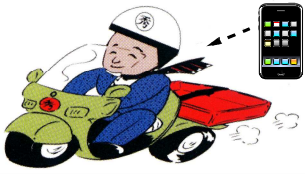


無所属レポート 号外その32号

荒木ひでき後援会発行

討議資料 平成31年1月1日

超.現場主義!! 『走る何でも相談室』



前 大田区議会議員
(5期20年)
(無所属)

荒木ひでき

ゼロからの発進! (秀 樹)

昭和25年1月13日生 寅歳
山王若草幼稚園、山王小、大森
三中、法政二高、法政大学法
学部卒。
故 新井将敬代議士の弟子、
公設秘書地元責任者。
平成7年4月区議会初当選
5期20年**無所属議員**として
活動させて頂きました。
前回、次点落選 ---
鵜の木東口商店会 副会長
山王三丁目東自治会 会長



大事な電話番号です(保存版)

防災無線が聞えない

台風、大雨の時不安だ

◎0180-993-993

放送直後から電話で確認できます

高齢者ほっとテレホン(高齢者の困った!)

◎03-3773-3124

区役所がしまっている時間(月~金)

P.M6:00~A.M8:30

土、日、祭日、終日、24時間

ケアマネ。看護師さん

が相談にのってくれます

◎皆様が住まいの各出張所、最近熱心に話を

03()- [] 聞いてくれますよ!



そして気楽に私にお電話下さい



何かお困りの事
ありませんか!

電話1本頂け
ればバイクで
即お伺い致し
ます

○山王事務所(安楽堂)

〒143-0023 大田区山王3-1-13

TEL: 03(3771)4719

FAX: 03(3771)7613

○鵜の木事務所

〒146-0091 大田区鵜の木2-15-18

TEL: 03(3758)3864

http://www.youmay.net/araki/

mail:arakihideki@mbr.nifty.com

(座右の銘) 受けたご恩は石にきざむ

(かわらずに。いつでも。どこでも皆様と共に!)



◎ 商工業者の景気振興

私の子供の頃の思い出はすべてお客様でいっぱい商店街の風景と重なりあいます。元気とやる気と必死さの集合体であった。当時の商店街の人達は言葉ではなく体ごと私達に「商売」として「何事か」を、教えてくれたように思います。私は「まち」に「商店街」に育てていただきました。商店街などの店舗でも、買物に来た高齢者に変わった様子がないかなど、声かけをし、見守りを行っています。こうした店舗などの取り組みが地域に広がるのが、町全体の安心安全に重要です。大型店にはまねのできないこの商店街の気分、私は大好きです。これからの商店街の生き残りのヒントはこの辺にあると考えます。ここが大切なのですが、商店には、商売に対するより真摯な覚悟を持つ事です。元気商店や商店街を目指して知恵と努力で一円でも多くもうけて頂くために、また、商店街の振興、街の活気を取り戻すために、元気で働きます。

◎ 高齢者問題

95歳の親を70歳の子供が面倒を見なければならなかったり、一人暮らしで長く患うなど、戦争体験、復興体験を通じ、一人一人が小説の主人公になるほどの、我々には想像も付かないほどの人生経験をされ、今日の我が国の繁栄を築いてこられた方々に、こんな思いをさせておいて良いものだろうか。今の状態を何とかするのが、我々の役目であり使命なのではないか、と私はつくづく思うのであります。

住民基本台帳による大田区の世帯と人口

平成31年1月1日現在

	世帯数	日本人			外国人			人口総数		
		人口			人口					
		男	女	計	男	女	計	男	女	総計
前月	391,335	351,341	354,210	705,551	11,451	12,729	24,180	362,792	366,939	729,731
本月	391,146	351,202	354,133	705,335	11,451	12,748	24,199	362,653	366,881	729,534
増減	-189	-139	-77	-216	0	19	19	-139	-58	-197

行政直接じゃないとダメ！
この内65才以上の高齢者一人暮らしは約4万人、孤独な高齢者を無くす為には大田区行政総力を上げて見守って行かなければなりません。私も最近高齢者クラブに入り元気に勉強しています。！

健康で、趣味を持ち、仲間がいる、元気高齢者3原則です。家に閉じこもることなく地域社会活動に参加することは介護予防にもなり、生きがいを持って生活することにもつながります。すなわち、孤立や閉じこもりを防ぎ、活力ある地域社会を築いていくため、いかに多様なメニューを用意できるかが、今、我々に最も求められている課題だと考えます。地域社会との接点を深める交流スペースを整備し、日常からの社会参加を促す地域活動を深める施策を推進していく必要があります。



◎ 災害に強い大田区を目指して

平成7年1月神戸、平成9年2月柏崎ナホトカ号
平成14年7月岐阜県大垣洪水、平成16年7月新潟県三条市洪水、新潟中越地震 東日本大震災災害の現場に立ち、常にもし大田区でこのような大災害が起こったら、私に何ができ、そのために何をしたらいいのか、自問自答し続けてきました。

私はボランティアとして荷物運びやごみの片づけと、微々たる働きしかできませんでした。何が起きて何が問題になっているか、私の体全身で受けとめてきました。

平成7年1月神戸。私の原点です！

政党に左右されない実体験に基づいたきめ細かい人情あふれる問題意識と抜群の行動力、絶対に必要です。常にバイクで即皆様のもとに!! **これが私の超・現場主義です。**